

光透波は「命と宇宙の謎解きの学問」

パネリスト山本敏朗氏お話

去る7月23日、名古屋市吹上ホール開催された光透波の記念講演会での命波学門下生のパネルディスカッションの場で話された山本敏朗氏の講演の抜粋を紹介させていただきます。



私と命波学との出会いは現在、實光透波研究会を主宰されています堀尾君子先生とのご縁からです。昨年、年明け間もない頃、故堀尾泉實先生の春の講演会へのお誘いを頂きました。その時に君子先生から「命波学(光透波)は私たちの生命と宇宙のなぞ解きをする学問だ」とお聞きしたことがとても印象的でした。

幼少期より、宇宙に興味があり、小、中学生時分には父親に天体望遠鏡を買って貰って月を観察したり、友人たちと一緒に近くのお寺の境内を借りて星を観る会を開催したりして楽しんでおりましたので、講演会でのお話しも楽しみながら聴くことができました。その後は堀尾泉實先生の初級、中級講座を通じて少しずつ学びを進めて参りました。

それまでは当たり前のように話していた言葉の一つ一つに秘められた真理があるということに、ただただ驚くとともに、もっと深く知りたい、学んで行きたいという気持ちも大きくなってきました。また、言葉には宇宙のエネルギーが秘められているため、それが大きな力を生み出すものだという事も学ばせて頂きました。

本日、講演をされた宿谷先生ともこの会を通じてご縁ができて、お話を聴かせて頂いておりますが、私の心に最も響きましたのは「前向きで明るい言葉は光の言葉であり、必ず、前向きで明るい出来事を引き寄せ、逆もまたしかりである。したがって、常に光の言葉を意識して繰り返し繰り返し唱え続けていくと、おのずと意識も光の方向に変化して行き、波動(エネルギー)が良い方向に動き出して行く」という主旨のメッセージでした。

光の言葉を活用すれば、明るい道が開かれる

わが身に置き換えてみますと確かに物事が順調に進んでいる時とそうでない時を比較してみますと、順調な時は自らの意識が光の方向を向いていたが、順調でない時は光とは逆の方向を向いていたことがわかりますので、先生のおっしゃることがとても実感を感じて理解できます。

命波学を学ぶようになってから、今までよりも言葉を選んで使うようになりましたし、意識して前向きな光の言葉を使う機会が増えたと思います。そうしますと不思議なことに、前向きで向上心の高い方と出会う機会が増えて来ました。私はフェイスブックを通じて日頃は直接会う機会のない方とも交流しているのですが、意識して光の言葉を使って投稿することも多いので、見てくれた友人が「山本さんの投稿をみていると元気がでるよ」と言ってくれることもあり、その言葉が自分にとっても励みになっています。

言葉の力は計り知れないものがあり、使い方ひとつで人様を元気づけ、勇気づけることもあれば、逆もまたしかりだと思います。だからこそ、言葉は尊いもの、慎重に選んで使わなければならないと思います。これからも命波学を通じて言葉や生命、宇宙について学び自らの心を磨いて行きたいと思っております。 和やか会 山本敏朗

實光透波研究会	名古屋市名東区香南1-103-8-201	堀尾 君子
メールアドレス	s8910kimiko@yahoo.co.jp	090-8499-5989
光透波塾	名古屋市熱田区旗屋2-16-4	磯部 賢一
メールアドレス	isobekk50@yahoo.co.jp	090-9199-0248
東京光透波の会	東京都品川区小山6-19-5	宿谷 直晃
メールアドレス	syu98-8do8@mbr.nifty.com	090-2447-2037
事務局 ホームページ	http://kotohawanokai.web.fc2.com	